

イ 行政評価報告書該当部分

2: 令和3年度の取組の総括（CHECK）

●取組の成果向上と対応して、令和3年度に実施した取組に対する評価
 「取組が達成された」「プロセス、実績、効果の観点から評価」

取組の状況	A	⑧
-------	---	---

●現基本計画期間（令和4年度見込みを含む）における取組の取組状況
 「取組の進捗状況」「取組の進捗状況」

取組の進捗状況	計画より進んでいる	⑨
取組の進捗状況	計画より遅れている	

●現基本計画期間（令和4年度見込みを含む4年間）における取組の成果についての総括

取組の進捗状況	A	⑩
---------	---	---

3: 次期基本計画期間までの取組の進捗状況（2030年代を見据えた方向）（ACTION）

●取組を取り巻く状況【A】（国、東京都、近隣自治体の動向など）を踏まえた取組の方向
 次期基本計画における取組の方向は「デジタルトランスフォーメーション（DX）・スマートシティ」「カーボンニュートラル」「防災・減災・防災・感染症対策」「ソフト・ハードが一体となったまちづくり（中心市街地整備、地域別まちづくり、都市計画道路整備）」に関する状況や方向を記載

取組の進捗状況	A	⑪
---------	---	---

●取組を取り巻く状況【B】（国、東京都、近隣自治体の動向など）を踏まえた取組の方向
 次期基本計画における取組の方向は「デジタルトランスフォーメーション（DX）・スマートシティ」「カーボンニュートラル」「防災・減災・防災・感染症対策」「ソフト・ハードが一体となったまちづくり（中心市街地整備、地域別まちづくり、都市計画道路整備）」に関する状況や方向を記載

取組の進捗状況	A	⑫
---------	---	---

⑧令和3年度の取組に対する総合評価

→ 施策の成果についての総括を踏まえ、施策の総合的な評価を5段階で記載するとともに、その理由を併せて記載しています。
 ※コロナ禍に伴う影響をはじめ、コロナ禍における取組プロセス、取組実績及び成果を考慮して総合的に評価しています。

⑨現基本計画期間における施策の取組状況

→ 令和4年度の見込みを含む現行基本計画の4年間における施策の取組状況（計画どおり・計画より進んでいる・計画より遅れ）について記載しています。
 → 取組状況や近隣自治体との比較を踏まえた今後の取組の方向や次期基本計画の策定に向けた対応課題等を記載しています。

⑩現行基本計画期間における施策の成果についての総括

→ 現行基本計画期間（令和4年度の見込みを含む）における主要な取組等の成果及び総括を記載しています。
 → 現行基本計画期間（令和4年度の見込みを含む）における施策の成果について、まちづくり指標の目標達成見込みや各取組を通じた成果などを踏まえ、5段階で評価しています。

⑪⑫施策を取り巻く状況（国、東京都・近隣自治体の動向など）を踏まえた取組の方向

→ 施策を取り巻く社会経済等の環境の変化や、施策に関する社会潮流、全国的な傾向、国、東京都・近隣自治体の動向等を記載しています。また、それらを踏まえた市としての今後の対応課題や取組の方向について記載しています。
 ※⑪では、「デジタルトランスフォーメーション（DX）・スマートシティ」、「カーボンニュートラル」、「産学官連携」のほか、「共生社会の充実（パラハート）」、「安全・安心（防災・減災・防犯・感染症対策）」、「ソフト・ハードが一体となったまちづくり（中心市街地整備、地域別まちづくり、都市計画道路整備）」に関する状況や方向を記載しています。
 ※⑫では、⑪に該当しない取組について記載しています。

(2) 各施策に紐づく基本計画事業に関する説明

施策01「災害づくり」に関連する基本計画事業

計画コード	①	②	③
事業概要	防災市民組織の育成 防災市民組織の育成及び充実を図る。①防災市民組織に対する補助金の提供。②防災講演会、立川防災連絡会防災訓練をはじめとする各種訓練。③防災に関する出前巡回防災訓練をはじめとする各種訓練。④防災市民組織を育成するための防災意識の啓発事業として行っている。		
【PLAN&DO&CHECK】			
計画目標	④	⑤	⑥
活動内容	⑦	⑧	⑨
事業費	3,705	3,945	3,479
債務負担行為による用地取得費	0	0	0
令和3年度取組実績	⑩	⑪	⑫
説明	防災に関する講演会・出前講座等の実施や広域防災訓練の開催などにより、地域の防災意識の向上を図った。これらにより、既存の防災市民組織が活動していることができた。令和3年度末時点から3団体増加となる139団体。		
今後の方向	⑬		
今後の取組の方向	⑭		

※新型コロナウイルスの影響に関連する内容は冒頭に「◆」印を記載しています。

①事務事業が体系付けられている施策番号及び施策名

②計画コード、重点プロジェクト、事務事業名、総合戦略、所管部署
 →重点プロジェクト事業に該当する事業に重点プロジェクト番号を記載しています。
 →総合戦略に位置付けた事業に該当する事務事業に「●」印を記載しています。

③事業概要
 →事業の目的・内容を説明しています。

④事業の計画目標

⑤令和3年度の計画（活動内容・事業費）

⑥令和3年度の当初予算化状況（活動内容・事業費）

⑦令和3年度の決算・実績（活動内容・事業費）

⑧債務負担行為による用地取得費（調布市土地開発公社による取得）
 →表中の金額は千円単位で表示しており、表示単位未満を四捨五入しています。
 →債務負担行為による用地の取得（調布市土地開発公社による取得）経費については、事業費の下段に債務負担行為額（外数）を記載しています。

④～⑧
 決算に係る主要な施策の成果に関する説明書該当部分
 ※上記以外は行政評価報告書該当部分

⑨【令和3年度取組実績】
 →令和3年度の取組計画に対する進捗状況を記載しています。
 →「計画遅れ」に「✓」があり、それが新型コロナウイルスの影響による場合は、「コロナ影響」にも「✓」を記載しています。
【実績評価】
 →令和3年度における取組に関する実績評価について左記の区分で記載しています。
 →令和3年度は、新型コロナウイルスの影響を考慮しつつ、実際に取り組んだ内容についての評価を実施しています。

<実績評価の区分>

- ◎：事務事業の目的に対して、十分な成果を得られた。
- ：事務事業の目的に対して、概ね成果を得られた。
- △：事務事業の目的に対して、期待した成果を得られなかった。

<今後の取組の方向の区分>

- ・現状継続：現状のまま事務事業を継続していくもの。
 ※事業の進捗や対象の自然増減に伴い事業内容・事業費等が増減するものを含む。
- ・有効性改善：事務事業の有効性（成果向上やサービス向上）について、改善していく必要があるもの。
- ・効率性改善：事務事業の効率性（効率的な事業の実施）について、改善していく必要があるもの。
- ・財政面改善：事務事業の財政面（財源確保、経費縮減、負担の平準化）について、改善していく必要があるもの。
- ・市民参加と協働の取組改善：事務事業における市民参加と協働の取組（機会・手法など）について、改善していく必要があるもの。

⑩令和3年度取組実績の内容説明

⑪今後の方向

→現在の取組状況を踏まえた今後の取組の方向について左記の区分で記載しています。

⑫今後の取組の方向

→令和3年度における取組実績や振り返り評価結果等を踏まえた、今後の取組内容（課題や見直し、改革・改善の取組内容などを含む）の説明を記載しています。
 →新型コロナウイルスの影響に関連する内容は冒頭に「◆」印を記載しています。